

## 2. 市街地氾濫解析・ハザードマップ

### 概要

最近では雨水排水整備された地区においても計画降雨を上回る降雨による都市浸水被害の発生が住民の安全安心を脅かしています。安全、安心を確保していくためには、効果的かつ効果的な対策策定が課題とされています。そこで近年の集中豪雨の頻発による浸水被害を軽減するため、既存施設を効率的に利用していくことに加え、都市における都市河川・用排水路・下水道が一体となった雨水排除対策が求められています。

### 業務実施のメリットや効果

- ① 災害に強い都市(まちづくり)
- ② 市民・地域の防災力の向上(人づくり)
- ③ 市民・地域、事業者等との連携・協働(仕組みづくり)
- ④ 危機管理体制の整備

OECは、都市河川・水路・下水道統合解析システムINFO-WORKSを駆使し、精度の高い水理解析を行います。これにより、効果的な浸水被害軽減対策の提案をおこなっていきます。さらに、このシステムを活用することで浸水軽減効果を視覚的に捉えることが出来ます。住民にとって理解しやすいハザードマップの作成支援も行ってまいります。

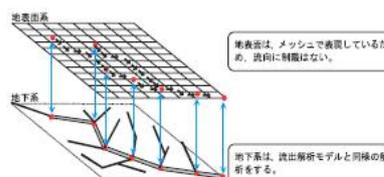


図-1 氾濫解析モデルのモデル化イメージ図

(出典: 流出解析モデル利活用マニュアル -2006年3月- 社団法人 下水道新技術推進機構)

